

討論

(第4回定例会)

議案第87号：稲敷市一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について

■ 反対討論

山口清吉

本案は、3年任期の任期付職員制度を導入し高度な専門的知識等を持つ者を期限付きで採用するものである。しかし、人材の確保や養成に努力がされる制度、仕組みをつくることを重視すべきであり、簡単に任期付採用に依拠すべきではない。

また、派遣切りなど働くルールの破壊等が社会問題となっている今、民間の規範となるべき自治体が非正規労働者の雇用3年上限を打ち出すことは、民間労働者にとっても重大な影響を及ぼすと言わざるを得ない。

請願第2号：「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願

■ 賛成討論

山口清吉

安倍政権は、2017年4月から、75歳以上が加入する後期高齢者医療制度について、低所得者の保険料を最大9割軽減している特例措置を段階的に廃止しようとしている。特例軽減が現役世代との負担の公平化の名で廃止されれば、保険料の増額により保険料が支払えなくなり継続的に医療機関を受診できなくなる事態が広がる。よって、今回の意見書提出は、当然必要である。

平成28年 第1回 稲敷市議会臨時会

平成28年第1回稲敷市議会臨時会が11月7日（会期1日間）に開かれました。

市長より提出された議案は、平成28年度一般会計の補正予算の専決処分案件1件、動産の買入れ案件の1件の計2件で、常任委員会への付託を省略し、本会議で審議の結果、各議案ともに承認可決されました。

議会の審査経過及び、議決の結果については下記一覧をご参照ください。

議案番号	件名	内容	付託委員会	審議結果 (賛成：反対)
議案第85号	専決処分の承認を求めることについて 平成28年度稲敷市一般会計補正予算（第5号）	繰越明許費の設定を行うもの 事業名：庁舎再編事業 (桜川地区センター新築工事) 翌年度繰越額：1億5,990万円	—	原案承認 (19：0)
議案第86号	動産の買入れについて	契約金額：2,570万4千円 契約内容：情報系ネットワーク環境分離・VDI、ハード・ソフトウェア一式	—	原案可決 (19：0)

審議された議案とその結果

産業建設委員会視察研修報告

当委員会は、去る11月24日、事務調査として千葉県香取市の「恋する豚研究所」並びに「和郷園」にて研修を行いました。

初めに「恋する豚研究所」は、豚肉やハム等を販売する会社として、2012年2月に設立されました。販売する商品は、社会福祉法人福祉楽団の就労継続支援A型の福祉事業の一つとして障がいのある人たちによって製造されているとのことでありました。農業と福祉を結び付けた新たな取り組みであり大変参考となる研修となりました。

次に「和郷園」では、農業の六次産業化の取り組みについて研修を行い、野菜の生産、野菜カット工場、観光農園、レストラン、バイオマスプラントの見学後、意見交換を行いました。



賛成討論

請願第3号：「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願

山口清吉

2015年6月30日、経済財政諮問会議、経済・財政再生アクション・プログラムによる患者負担増計画によると、受診時定額負担の導入・後期高齢者の窓口負担・70歳以上の高額療養費制度の限度額引き上げ等々、今回のプログラムは、世代内での負担の公平、医療介護負担の公平と言っているが、全てこれは負担の公平ではなくて負担の増だけである。

高齢者の年金据え置きや引き下げで収入が減少している中、現行制度の継続を求めるのは、当然の願いである。

秋田県男鹿市議会の皆様が来庁



11月8日、秋田県男鹿市議会から議会広報特別委員会6名の皆さんが、視察研修のため来庁されました。

当市議会からは篠田議会だより編集委員長が出席し、議会事務局より「いなしき市議会だより」の編集発行方法等について説明を行い、活発な質疑応答が交わされました。

桜川中学校にて議会報告会を開催

平成28年11月16日に、桜川中学校において議会報告会を開催しました。

当日は、3年生58名に参加をいただき、市議会から全議員20名、執行部より坂本教育長、一鍬田教育部長が出席しました。

はじめに、浅野議長から報告会開催の趣旨説明を行い、次に柳町議会運営委員長より地方議会の役割、稲敷市議会の概要について説明がありました。

全体での質疑応答の後、生徒、議員を交えた各班に分かれてのグループディスカッションが行われ、中学生らしく、素朴な疑問の上に成り立つものや、中学生とは思えぬ視点からの質問もあり活発な質疑応答が行われました。

その後、給食の試食を行いながらの懇談となりました。

普段、市議会議員との交流がない中学生にとって市議会や議員の役割について学んで頂ける良い機会となりました。

